

平成25年3月予算特別委員会（建設関係）



- ①自転車の事故防止について
- ②安佐動物公園の再整備計画について
- ③県道広島・中島線の整備について
- ④広島空港へのアクセス対策について

広島空港へのアクセス対策について

質問要旨

広島空港へのアクセス対策は、さまざまな角度から検証するべきだ。なかでも、既存リムジンバス路線の利便性向上を図る取り組みがなされていない。こうした声は幾つかの地域から上がっている。こうした要請に対し、どのような対応を考えているのか。

答 弁

●広島空港リムジンバス路線の途中のバス停への停車の要望については、平成25年度までに、バス事業者をはじめとする関係者と協議を行いながら、これまで重視してきた「速達性の確保」の視点に加え、「利便性の向上」という視点も踏まえて、すべての要望箇所を含め、トータルで検討を進めていく。

あしあと



地域のまつりて



同僚議員と広島市児童総合相談センターを視察



勉強会のようす



定例市政報告会



委員会での発言風景



「ヒゲの隊長」こと佐藤正久参議院議員と



グリーンカップ少年野球大会始球式



新事務所の前で



クリスマスコンサート



広島市議会議員

森畠 秀治

現在の役職

- ・厚生委員会 副委員長
- ・有害鳥獣対策広島市議会議員連盟 幹事
- ・広島菊友会 参与
- ・広島南年金受給者協会福木地区協議会 顧問
- ・福木体育協会 顧問

自由民主党・保守クラブ所属

- ・広島市立福木中学校 PTA 会長
- ・地区自主防災会 会長
- ・地区町内会 顧問
- ・福木父親クラブ 代表

もりばたけPRESS

■発行／もりばたけ秀治事務所
■連絡先／広島市東区温品7-18-4 秀和ビル 209 TEL&FAX.289-2356
■URL <http://www.moribatake.jp>
■Facebook URL <http://www.facebook.com/moribatake.shuji>



vol. 5

平成25年度 広島市当初予算の内訳

一般会計	5697億2690万円 (対前年比 3.2%減)
特別会計 ※1	3792億9674万円 (同 4.2%増)
企業会計 ※2	1983億2853万円 (同 2.6%減)
全 会 計	1兆1473億5217万円 (同 0.8%減)

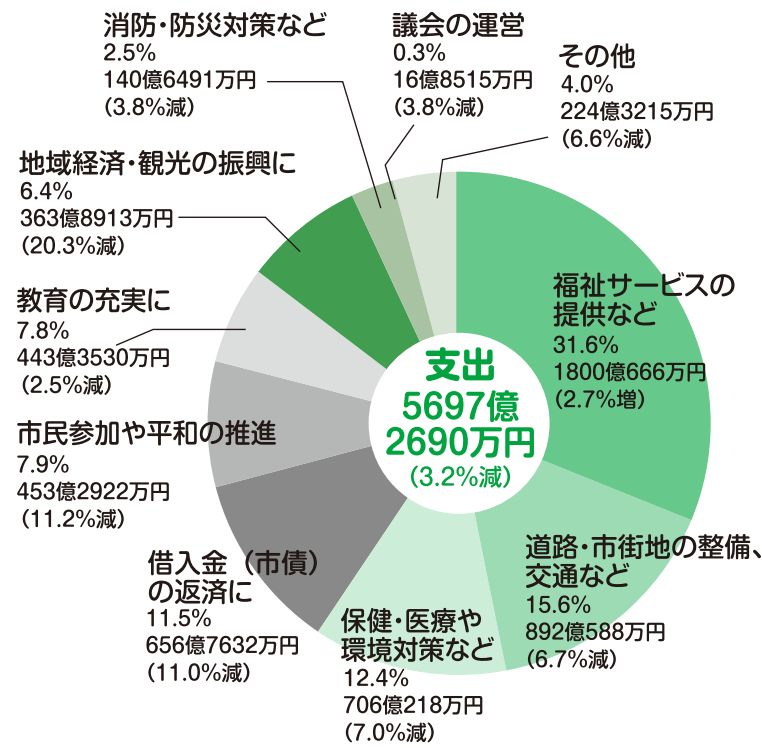
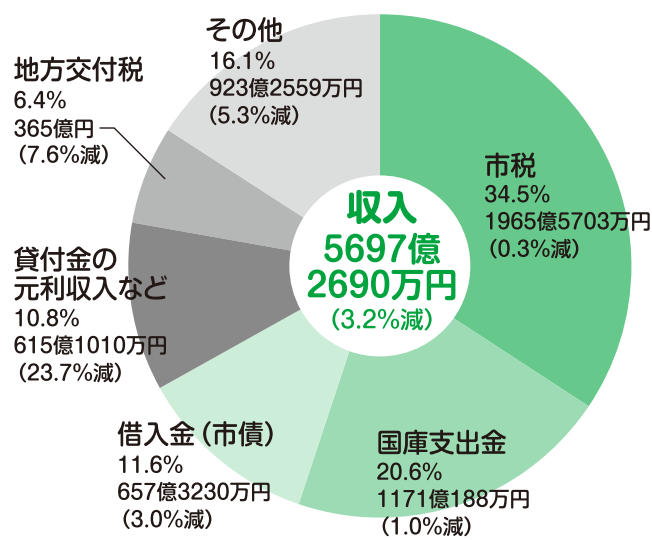
※1 特別会計とは保険料などの特定の収入で特定の事業を行い、一般会計とは別に経理する会計です。広島市には、国民健康保険や介護保険など21の特別会計があります。
※2 「企業会計」とは、民間企業と同じように、主にサービスの提供で収入を得て、その収入で支出を賄う会計です。市には「水道」「下水道」「病院」の3つの企業会計があります。



福祉や保健医療、教育、消防など、皆さんの生活に関わりの深い様々な事業を行う一般会計について、その収支の内訳を紹介します。

一般会計の内訳

予算額の内訳と構成比。()は対前年比



平成25年 第1回(2月)定例会 総括質問



- ①介護人材の確保について
- ②郊外団地の高齢化について
- ③老朽化したインフラについて
- ④道路行政について

介護人材の確保について

質問要旨

介護人材の確保の現状についてどのようにとらえているのか。また、慢性的な人材不足や高い離職率と低賃金との関係をどのように考えているのか。

答 弁

- 広島県内の昨年12月の常用職員の有効求人倍率は0.77であるが、介護関係は1.59となっており、介護人材の確保は他の業種に比べ厳しい状況にある。
- 財団法人介護労働安定センターが行った介護労働実態調査において、「今の介護報酬では人材確保・定着のために十分な賃金を支払えない」という回答が49.8%あり、これを踏まえると、賃金の低さが、人材確保難や離職率の高さの要因の一つになっていると考える。

質問要旨

こうした課題に対し、市の責務をどう認識し、今後どのような取り組みを講じていくか。

答 弁

- 介護サービスの重要性について市民に啓発を行う、介護に関するシンポジウムの開催や、介護従事者の質的向上、定着などを目的とした研修を実施するとともに、介護従事者の人材確保・処遇改善のための対策を実施するよう国に働きかける。

質問要旨

給与改善費補助制度の見直しを検討することとなった趣旨と、その方向性について考えを聞かせてほしい。

答 弁

- 3年毎に介護報酬等の改定は行われているが、次回改定(平成27年度)までには、介護報酬等の地域区分が国家公務員の地域手当と同率にまで引き上げられることとなっており、職員の給与水準についても、ある程度改善が進むと考えられる。
- また、本制度は社会福祉法人のみを適用対象としているが、昨今の民間参入が進んできた中では、各施設に対する支援としてアンバランスが生じている。
- これらを踏まえ、本市独自の支援のあり方について、抜本的な見直しの検討に着手してはどうかと考えたものである。

郊外団地の高齢化について

質問要旨

第5次広島市基本計画の「郊外住宅団地の高齢化等への対応」に掲げてある、それぞれの取り組みについての実施状況とその成果、これまでの評価はどうか。また、今後の取り組み方針を伺う。

住宅団地の課題解決に向けては幅広い取り組みが必要となり、所管部局や実施する施策も多岐にわたることが想定され、総合調整する機能も必要と考えるが、どうか。

答 弁

- 第5次広島市基本計画に掲げる「郊外住宅団地の高齢化等への対応」に関するこれまでの取り組み状況は、まず「交通等の生活環境の改善」については、地域主体の乗り合いタクシーの導入支援や運行補助、住宅の耐震診断や耐震改修工事、バリアフリー化工事に対する補助などを行っている。
- 「コミュニティの活性化」については「区の魅力と活力向上推進事業」による住民の主体的かつ継続的な活動に対する支援の他、町内会への加入促進、社会福祉協議会や老人クラブを通じた地域住民の活動支援などを行っている。
- 「利便性の高い都市部への居住を希望する高齢者世帯と子育て期のファミリー世帯との間の円滑な住み替えの促進」については、本市ホームページにおいて、一般社団法人 移住・住み替え支援機構が実施している「マイホーム借り上げ制度」を紹介している。
- 今後、一層深刻化することが見込まれる住宅団地においては、平成25年度から団地住民、学識経験者、民間事業者で構成する研究会を立ち上げ、総合的な対策を検討し、実施していきたい。
- また、議員御指摘のとおり、こうした対策は多様な分野にわたることから、庁内の関係各課で組織する庁内調整会議を設置するとともに、企画総務局が総括する体制をとり、全庁を挙げて取り組む。

道路行政について

質問要旨

高速5号線の建設促進を求める決議では、高速5号線とともに、中山踏切の立体交差化についても早期完成に取り組むよう求めている。この決議を踏まえた取り組みについての認識を伺う。

答 弁

- 高速5号線については、地表面沈下の抑制に最も優れたシールド工法の採用、調査・計測管理および補償への万全な対応を行うことで、事業再開を判断した。高速道路公社とともに、県・市も一体となって、安全・安心の確保に努めながら事業を進める。
- 中山踏切の立体交差化については、議員御指摘のとおり、早期整備について本市も十分認識している。今後は、高速5号線とともに整備に取り組むこととし、中山踏切を管理するJR西日本と協議を開始した。早期完成に向け、最大限取り組んでいく。

都市活力向上対策特別委員会 行政視察

テーマ

「教訓を未来に生かす」
防災・仙台モデル構築プロジェクトの推進について

(平成25年2月)

仙台市は東日本大震災による被災からの復旧・復興に向けた着実な取り組みや、震災を教訓とした防災の先進的な取り組みが評価され、昨年10月に国連から、「ロール・モデル(模範)都市」として認定されています。(国内では兵庫県に続き2番目)

本市においても、情報の収集・伝達体制の充実、避難態勢の整備、救援物資集配システムの構築及び市民の防災意識の向上などに取り組む、広島市地域防災計画を見直すこととしています。

そうした中、本特別委員会は、災害に強いまちづくりについてなどの調査研究を行うため設置され、現在、その取り組み状況について鋭意調査研究を行っています。



仙台市役所で発言する森島秀治議員